

令和元年度第8回教育研究評議会議事要旨

日時 令和元年12月20日(金) 16時17分～17時05分
場所 大学本部2階大会議室
出席者 渡理事, 山下理事, 寺本理事, 中村人文・社会科学域長, 豊田自然科学域長, 末岡医学域長, 板橋教育学系長, 小坂芸術学系長, 山下医療系長, 小林農学系長, 早瀬全学教育機構長, 山崎附属図書館長, 高椋総合分析実験センター長, 甲斐評議員, 荒木評議員, 岩本評議員, 青木評議員, 後藤評議員, 一色評議員
欠席者 学長
陪席者 佐々木監事, 山崎事務局長, 只木評価室長

○ 議長代行：渡理事

○ 議事要旨について

学長から、令和元年度第6回及び第7回の議事要旨を評議員に送付、確認したところ、加除・修正等の意見はなかったため、原案のとおり確定し、ホームページに掲載している旨、報告があった。

○ 審議事項

1. 審議事項

2. 国立大学法人佐賀大学リージョナル・イノベーションセンター規則の一部改正について

社会連携課長から、本件について、これまでは他の規則により、客員教授を置いていたが、規則上の根拠を明らかにするため、国立大学法人佐賀大学リージョナル・イノベーションセンター規則に客員教授又は客員准教授を置くことができる旨の条項を新設する旨の説明があり、審議の結果了承された。

3. 共同研究講座について

寺本理事から、本件について、佐賀大学の教育研究の進展及び充実を図ることを目的とし、民間企業等と大学が共同で佐賀大学内に研究講座を設置する制度である旨、本制度の概要、共同研究・寄附講座と比較したメリットについて説明があり、審議の結果了承された。

医学域長から、経費の積算費目について、スペース利用料は間接経費のスペース維持費に含まれるのか確認があり、学術研究協力部長から、直接経費の施設使用料に該当する旨の説明があった。

山下理事から、大学教員の立場で教育を行う場合の資格審査について確認があり、寺本理事から、資格審査は当該部局で行う旨の説明があった。

岩本評議員から、規程及び契約書に記載のある特許等の取扱いについての条文中に齟齬がないか確認いただきたい旨の発言があった。

4. 寄附講座の設置(更新)について

寺本理事から、本件について、京セラ株式会社から、寄附講座「人工関節学講座」の更新の申込みがあり、設置期間は2年間で寄附総額は40,000千円である旨の説明があり、審議の結果了承された。

5. その他
特になし。

○ 報告事項

1. 平成30年度に係る業務の実績に関する評価の結果について

只木評価室長から、本学について、「戦略性が高く意欲的な目標・計画」として、とびらシリーズ及び教育研究活動に対するインセンティブの付与が評価され、項目別評価として、業務運営の改善及び効率化等の4項目すべてで「順調」と評価された旨、指定国立大学を除く国立大学法人等の平成30年度評価結果について報告があった。

2. 全学委員会等の審議状況報告について

渡理事から、12月17日（火）に第4回現況分析等に関する作業部会を開催した旨の報告があり、次いで、只木評価室長から、現況分析における留意点等の説明があった。

山下理事から、第2回就職委員会等を開催した旨の報告があった。

寺本理事から、12月14日（土）にクアラルンプールで海外版ホームカミングデーを開催した旨の報告があった。

3. その他
特になし。

以上